

日時：2006年2月4日(土) 14:00～16:35

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

ボアソナード・タワー26階スカイホール

定員：100名 **入場無料**

多様化、広域化する環境問題に対処するためには、自治体も様々な局面に幅広く環境政策を織り込んでいかなければなりません。

そのためには環境問題に専門的に取り組める人材の育成に留まらず、自治体の中核となる職員全てが環境問題に対する理解を深め、意識を改革しつつ、環境政策をあらゆる施策に統合していかなければなりません。

また、総合的な環境政策を実施するには、広範な利害関係者の参加が不可欠です。今後、市民、事業者やNPOの参加やパートナーシップの推進も、重要な政策課題のひとつと言えるでしょう。

本シンポジウムでは、環境政策の統合に積極的な3つの都市自治体の担当者にお越しいただき、政策統合、人材育成、利害関係者の参加・パートナーシップについての課題をお話し頂き、今後の自治体や市民、事業者、NPOさらには大学の進むべき方向について議論をしていきます。

出席者

パネリスト

垣迫 裕俊 ● 北九州市環境局長

高田 明 ● 川崎市環境局緑政部緑政課長

黒澤 孝明 ● 板橋区資源環境部環境保全課地球温暖化対策係長

コメンテータ

武藤 博己 ● 法政大学大学院政治学研究科教授

小島 聡 ● 法政大学大学院環境マネジメント研究科教授

司会

藤倉 良 ● 法政大学大学院環境マネジメント研究科教授

「地域環境と政策統合 都市自治体の挑戦」

お問い合わせ先 ● 法政大学大学院事務部大学院課

TEL.03-5228-0552 FAX.03-5228-0555

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>

H O S E I

主催：法政大学大学院環境マネジメント研究科

後援：環境省（申請中）